

製品名: TRAF4 (9Q19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19186**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, FC 1:10-1:100
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	TRAF4
別名	MLN 62; RING finger protein 83; TRAF4; CART1; MLN62; RNF83
遺伝子 ID	9618.0
SwissProt ID	Q9BUZ4
免疫原	ヒト TRAF4 の合成ペプチド

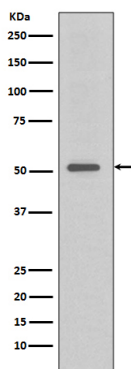
背景

腫瘍壊死因子 (TNF) 受容体スーパーファミリーは、システインに富む細胞外ドメインに相同性を示す複数の I 型膜内在性糖タンパク質から構成されています。このファミリーのメンバーには、TNF-RI、TNF-RII、CD40 が含まれます。これらの受容体のリガンドは、TNF のような小さな分泌タンパク質、あるいは CD40 リガンドである CD40L のような II 型膜内在性タンパク質です。TNF 受容体スーパーファミリーのシグナル伝達機構は十分に解明されていませんが、TNF-R または CD40 の活性化が NFκB の核移行を誘導することが示されている。E3 リガーゼ活性を有するアダプタータンパク質は、細胞増殖、遊走、分化、DNA 修復、血小板活性化、アポトーシスなど、多様な生物学的プロセスに関与しています (PubMed:30352854、PubMed:31076633、PubMed:32268273、PubMed:33991522)。EGFR の二量体化と下流の AKT 活性化を促進することで、EGFR を介したシグナル伝達を促進し、細胞増殖を促進します (PubMed:30352854)。SMURF2 は「Lys-48」結合ユビキチン鎖を介してユビキチン化され、プロテアソームによる分解を経て骨芽細胞への分化が誘導されます (PubMed:31076633)。CHK1 の「Lys-63」を介したユビキチン化を促進し、細胞周期停止および DNA 修復の活性化を活性化します (PubMed:32357935)。さらに、インスリン様成長因子 (IGF) シグナル伝達に重要な IRS1 の C 末端における非定型「Lys-29」結合ユビキチン化を促進します (PubMed:33991522)。Toll 様受容体を介したシグナル伝達にตอบสนองして NF-κB の活性化を制御します。正常な骨格発達および呼吸器の正常な発達に必要です (類似性による)。TNF シグナル伝達にตอบสนองして RPS6KB1 を活性化するために必要です。TRAF6 の機能を調節します。ピルビン酸キナーゼ PKM 活性を活性化し、続いて β-カテニンシグナル伝達経路を活性化することで、脂肪分化を阻害します (PubMed:32268273)。

研究分野

がんの経路;小細胞肺がん;

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の TRAF4 発現のウェスタン プロット分析。